

平成22年度 第2回公益財団法人新宿未来創造財団理事会議事録

- 1 日時 平成22年6月16日(水) 10時から12時まで
- 2 会場 新宿区大久保3丁目1番2号 新宿コズミックセンター3階 大会議室
- 3 出席者 理事現在数12名 定足数7名
〔理事出席者〕
理事長 中山 弘子 副理事長 酒井 敏男 常務理事 小野寺 孝次
理事 石崎 洋子 理事 佐藤 洋子 理事 武井 正子
理事 新田 満夫 理事 原田 宗彦 理事 平田 達 以上9名
〔監事出席者〕
監事 小柳 俊彦 監事 名倉 明彦 以上2名
〔会計監査人出席者〕
会計監査人 太陽ASG有限責任監査法人
川口 勉、和田 磨紀郎、登坂 秀明 以上3名
〔同席者〕
事務局次長 諏訪 丹美

欠席者 〔理事欠席者〕
理事 岡田 芳朗 理事 清水 敏男 理事 白井 裕子 以上3名

出席職員 28名

4 議題

(1) 議事事項

- 議案第14号 公益財団法人新宿未来創造財団第1回評議員会の招集(案)について
議案第15号 「公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会」委員の委嘱(案)について
議案第16号 公益財団法人新宿未来創造財団評議員候補者の推薦(案)について
議案第17号 平成21年度事業実績報告(案)について
議案第18号 平成21年度収支決算報告(案)について

(2) 報告事項

- ア 規則の一部改正について
イ 財団法人新宿文化・国際交流財団の清算事務について
ウ 業績係数について
エ 第3回理事会の開催について

5 定足数の確認

理事現在数12名中9名の出席があり、理事会運営規程第7条の規定により、理事会は有効に成立していることを確認した。

6 議事の経過の概要及び結果

定款第34条の規定に基づき、中山理事長が議長となり、本会議の開会を宣し、議事に入った。

- (1) 議案第14号 公益財団法人新宿未来創造財団第1回評議員会の招集（案）について
- (2) 議案第15号 「公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会」委員の委嘱（案）について
- (3) 議案第16号 公益財団法人新宿未来創造財団評議員候補者の推薦（案）について

事務局次長より議案第14号、議案第15号、議案第16号について、資料に基づき説明が行われた後、それぞれの議案を原案通り出席者全員一致で可決した。

- (4) 議案第17号 平成21年度事業実績報告（案）について
- (5) 議案第18号 平成21年度収支決算報告（案）について

常務理事および事務局次長より議案第17号、議案第18号について、資料に基づき説明が行われた。その後、議長の求めに応じて、小柳監事より事業及び収支会計に関する監査の結果が適切であったこと、ならびに会計監査人より収支決算がすべての重要な点において適正に表示されていることの報告があった。その後質疑が行われ、それぞれの議案を原案通り出席者全員一致で可決した。

7. 報告事項

- ア 規則の一部改正について
- イ 財団法人新宿文化・国際交流財団の清算事務について
- ウ 業績係数について
- エ 第3回理事会の開催について

事務局次長より資料に基づき説明が行われた後、質疑応答が行われた。

（議事の詳細・経過については、後出の理事会議事録のとおり。）

以上、この議事録が正確であることを証明するために、出席した理事長および副理事長ならびに監事は次のとおり署名する。なお、軽易な文言の修正は、理事長に委任する。

平成22年 6月16日

理事長 中山 弘子

副理事長 洒井 敏男

監事 名倉 明彦

監事 小柳 俊彦

平成 22 年度 第 2 回公益財団法人新宿未来創造財団理事会
議事録

平成 22 年 6 月 16 日

○中山理事長 それでは、ただいまから平成22年度第2回公益財団法人新宿未来創造財団理事会を開催いたします。

これより議事に入ります。

議案第14号、公益財団法人新宿未来創造財団第1回評議員会の招集（案）、議案第15号、「公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会」委員の委嘱（案）及び議案第16号、公益財団法人新宿未来創造財団評議員候補者の推薦（案）については、一括して議題に供させていただきます。

それでは、まず事務局の説明を受けます。事務局お願いいたします。

<資料に基づく説明省略>

○中山理事長 それでは、質疑に入ります。議案第14号、第15号、第16号についてご意見、ご質問のある方はどうぞ、お願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、ご発言がなければ、質疑を終了いたします。

議案第14号、公益財団法人新宿未来創造財団第1回評議員会の招集（案）を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○中山理事長 異議なしと認め、議案第14号は原案どおり決定いたします。

議案第15号、「公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会」委員の委嘱（案）を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○中山理事長 異議なしと認め、議案第15号は原案どおり、決定いたします。

議案第16号、公益財団法人新宿未来創造財団評議員候補者の推薦（案）を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○中山理事長 異議なしと認め、議案第16号は原案どおり決定いたします。

○中山理事長 次の議案第17号、平成21年度事業実績報告（案）及び議案第18号、平成21年度収支決算報告（案）については、一括して議題に供させていただきます。

それでは、まず事務局の説明を受けます。お願いします。

<資料に基づく説明省略>

○中山理事長 引き続きまして、事業及び収支会計に関する監査報告を小柳監事をお願いいたします。

○小柳監事 それでは、平成21年度事業及び収支会計に関する監査について報告いたします。

平成22年6月2日、神津監事、名倉監事とともに監査を実施いたしました。事業監査につきましては、事業実績報告に基づき、審議及び質疑により、事業は当初の計画のとおり着々と実施されていることを確認いたしました。

続きまして、会計監査ですが、主に財産目録に記載されている資産と負債の残高を中心に監査し、また同時に太陽A S G有限責任監査法人による監査報告書につきましても正当であるということを確認いたしました。

以上のとおり、監査の結果は適切であることを報告いたします。

○中山理事長 会計監査人から報告をお願いしたいと思います。

○川口会計監査人 平成21年度収支決算報告書（案）に監査報告書としまして、監事の監査報告書と会計監査人の監査報告書の謄本が添付されておりますので、ご覧いただきたいと思います。

結論といたしまして、私どもの監査の結果、当財団の財務諸表は財産及び正味財産増減の状況を

すべての重要な点において適正に表示しているものとお認めいたします。

また、収支計算書は平成21年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものとお認めいたします。

以上でございます。

○中山理事長 それでは質疑に入ります。議案第17号、18号についてご意見、ご質問のある方はどうぞお願いいたします。

○新田理事 財団の機能統合で、事業数および区からの指定管理が増加することに伴い、職員数も増やさなければなりません。

職員も専門性を持って頑張っているのですが、業務によっては他へ委託をしなければいけないことも生じます。職員数増においても外部委託においても、予算つまり人件費などの支出が伴うわけで、事務局は今後整理整頓をやらなくてはならないでしょう。ここについてはかなり専門的な目を持って校正で適正な仕訳をしておかないと、この部分が容易に流れた場合、お金の無駄遣いになってしまいます。財団事業には区の予算が使われていることをもっとPRするべきだと思います。

事業数の増加はある段階まではいいですが、事務局として「止めるべきもの」「重点化するもの」、つまり今はやりの言葉で言う「仕分け」をし、重点化をどう変化させていくかを考えていかないと、ただ増えていくだけではないかというような感じがしました。

それから昨年、常務理事が広く薄く、もっと多くの人に参加してもらわなければならないとおっしゃっていましたが、その効果は数の上などでよく出てきているということですので、これについて私は敬意を表したいと思っています。

ただ、そうはいっても、一般的に新宿区に働いている数百万の人たちから、この事業は何をやっているかを知っている人はほんのわずかで、必ずしもこれが新宿区を代表する事業ではありません。文京区の文京シビックセンターなどを例にとると、申し込んでも抽選で落選し予約すらすることができないこともあるが、新宿文化センターにはまだ余裕がある。やはり東京都の真ん中、新宿の文化センターには、もう少し高度な催しが多かったり、予約が大変だったりというほどの施設になって欲しいし、グレードアップのために総監督または総プロデューサーのような良い人を選ぶなど、「東京を代表する一つのセンター」になっていって欲しいと思います。残念ながら今のところ、新宿文化センターで日本を代表するようなイベントがあるという話は余り聞きません。なぜ文京シビックセンターがいつも満員で、新宿文化センターが余り入ってないのかということについては、やっぱり少し反省する余地があると思っています。

○中山理事長 今、新田理事からご意見いただきましたけれども、新財団が発足をした中で、より総合的、かつ効果的に重点化を図っていくことは、この財団の大きな課題でもありますので、そのようなものと受けとめて、今後も実行してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

他にご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○原田理事 今、与党と野党の間で最大幸福社会なのか、最小不幸社会なのかという議論があるのですが、先ほど常務理事から質の高いサービスを求める層が出てきたという話がありました。

インターネットで見ていると、コズミックセンターではシャンプーが使えないというような不満もあって、その理由というのはよくわかりませんが、今後、最小不幸社会で最大公約数的なサービスを求めるのか、あるいは受益者負担を高度化させて、ちょっとモデル的に言うと、保障の公正サービスという、やはりたくさん払う方にはいいサービスを提供していくのか、最大幸福を求めるのか、どちらの方向にこれから向かわれるのか、少し聞かせていただければと思います。

○小野寺事務局長 私どもは、ある特定の層を選択するというのではなくて、年齢であるとか、あるいは経済力であるとか、あまねく全部を対象にしなければならないという立場だと思います。

ただ、どちらかといいますと、福祉的な視点の部分が今までは強くて、低廉な価格あるいは無料でのサービスの供給が求められていたということが現実的にありました。

しかし、実際に、市場を見てみますと、高度な質のものに対する需要も相当なものがあります。このすぐそばには早稲田大学がございますが、大学を初めとした民間のカルチャーセンター等にはかなり高額な負担をしても人が押し寄せるといった状況になっています。私どもも業務の中でも、まだ幾つかですが、質のいいサービスを意識的に趣向したものがございます。通常ですと100円、200円、あるいは無料、一般の人でも400円程度を参加料の平均値にしているのですが、例えば3,000円の負担で、子どもが十分満足できるような大学の研究機関と連携した授業を行ったり、あるいはプラネタリウムがありますけれども、通常あそこは300円なのですが、ここで生演奏を聞きながらお子さんと一緒に楽しめるということも、1,500円の値をつけてやってみたり、それらにも結構な需要があります。

従いまして、これからは低所得者とか、あるいは低廉な価格ということだけではなくて、負担を伴う、質の高いものを望んでいる方にも領域を広げていかざるを得ない。どこかに焦点を絞るということではなくて、あまねく行き渡るような形の工夫を今後続けていく必要があるだろうと考えております。

ただ、ご案内のとおり、区の財政といっても皆さんの税の負担によって成り立っているものですし、それぞれの行政需要がある中で、私どもの事業に対する助成が最優先ということには必ずしもならないという状況がありますので、できるだけ皆さんの負担で、負担できる人が多く負担した分を、負担できない層にその資金を向けられるという形で、支え合いの生涯学習活動ができてくるのが一番好ましいと思っております。今後、先ほどご意見があったように、事業等について精査をしまして、ゼロベースで見直しをすることによって、皆さんが求めているものにより重点的に配分をしていくことに今後も心がけていきたいと考えております。

○中山理事長 それでは、他に何かございますか。

○武井理事 昨年から準備していただいて、大変目立ったなと思いましたが、歴史博物館の改装に伴う明るさでして、すばらしく変わったなという印象を受けました。

それと、広報紙の「Oh!レガス」ですけれども、これも非常に目につくようになり、いろいろなところから「新宿は良いのを出していますね」という意見を聞くようになったので、これもすばらしいと思います。

それから、先ほど原田理事、新田理事の方からもお話がありましたけれども、これから何を中心にするかということの中の一つに、やはり子どもの未来について、子どもに対する施策についてちょっと考えていただきたいなと思いました。

昨日、バスケットの練習を見に来た際、その時にご父兄の方に伺ってみましたら、「抽選でここに入れても、帰りは6時半を過ぎるため、送迎しなければならない。体育館は小学校にもあるのだから、例えば放課後子どもひろばのようなところに指導者が来て、指導していただけるのであれば、費用はもっとかかっても構わない」と。下の子どもたちを連れてここまで送ってきて、またタクシーで帰るというようなことをやっていらっしゃる方もあるようですので、それを考えれば、もうちょっと子どもたちに対して、何か気軽に参加でき、親も安心して通わせられるような事業を、工夫していただきたいなと思いました。

○小野寺事務局長 おっしゃる通りでございまして、できるだけ身近な、各種の資源がございまして、行政のみならず民間施設も含めまして、やっぱり身近で楽しめる場があるということがすごく大事だと思いますし、特に子どもにつきましてはこれからの社会を担っていく立場ですから、今まで以上に色々な場面をつくっていききたいと思えます。

それと、博物館のお話がありました。確かに皆さんに親しまれるためには気持ちのいい空間をつくっていかないと、何回も足を運んでいただけません。従いまして、今年度からは文化センターも、私どもの指定管理施設ということで管理運営してまいりますので、今まで以上に、新田理事の方からお話がありましたように、新宿にある文化センターが全国的に良いものを提供している施設だと思われるように、職員で工夫を重ねてまいりたいと思えます。

参考までに、文化センターにつきましても、延べで42万7,000人ほどの方が昨年までも出入りをしておりました。もっともっと区民に身近で、皆さんの関心の持てる番組の提供をし続ける施設として今後も工夫してまいりたいと思いますので、よろしく応援をしていただければというふうに思います。

○中山理事長 他にいかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、ご発言がなければ質疑を終了いたします。

議案第17号、平成21年度事業実績報告(案)を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○中山理事長 それでは異議なしと認め、議案第17号は原案どおり決定いたします。

続いて、議案第18号、平成21年度収支決算報告(案)を原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○中山理事長 異議なしと認め、議案第18号は原案どおり決定いたします。

それでは、何かご意見はこの他にございますでしょうか。

特にないようですので、以上で議事は終了いたします。

それでは、次第に基づきまして、報告事項について、事務局から報告をお願いいたします。

<資料に基づく説明省略>

○中山理事長 それでは、報告事項について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○新田理事 新宿区中央図書館がメディアプラザのような名前になるかもしれないと聞きましたが、新宿未来創造財団にもわかりやすいような通称を1回ぜひ事務局で考えてみたらどうですか。

○小野寺事務局長 広報紙は「Oh!レガス」という名前です。実は歴史、学習、スポーツから出発したもののなのですが、レガスという言葉の方が皆さんにずっと浸透しているものですから、今後とも愛称としましてはレガス新宿ということでした方が、皆さんにとっても認知はされやすいかなと思っていますので、それを続けていきたいと考えております。

○中山理事長 本日は皆様から議事についてはすべてご決定をいただきまして、ありがとうございました。これをもって閉会といたします。